

新入生に、安心して中学校生活を送ってもらうためには？

12月19日(月)小橋川一先生(3年7組)、20日(火)は當間沙織先生(3年4組)が、授業を公開しました。一先生と沙織先生は、同じ学年を担当していることから、平日頃から連携を密にし、授業づくりに励んでいる姿が見られます。教師が協働して授業を創ることは、**授業改善**や**働き方改革に資する取組**だと思しますので、他教科も参考にされたい好事例だと思います。

本時の授業は、「新入生に中学校生活を紹介します」と題して、**互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることが目的**です。

生徒は前時のブレインストーミングで表出されたアイデアを、堂々と提案する姿がカッコよく、中には、まるでスティーブ・ジョブズの演説かのように、身振り手振りを使って、熱く語る生徒もいました(図1)

さすが最上級生だと感じたのは、生徒は忌憚のない意見を述べたり、論点を整理整頓したりし、学級役員のリードのもと、上手に合意形成を図っていました。本時の見方・考え方である「考えを広げたり、深めたりしている姿」(授業後に期待する生徒の姿)は見られたのか、ドゥーチームニーしていたので、勉強したいです。

一先生&沙織先生、ありがとうございました。

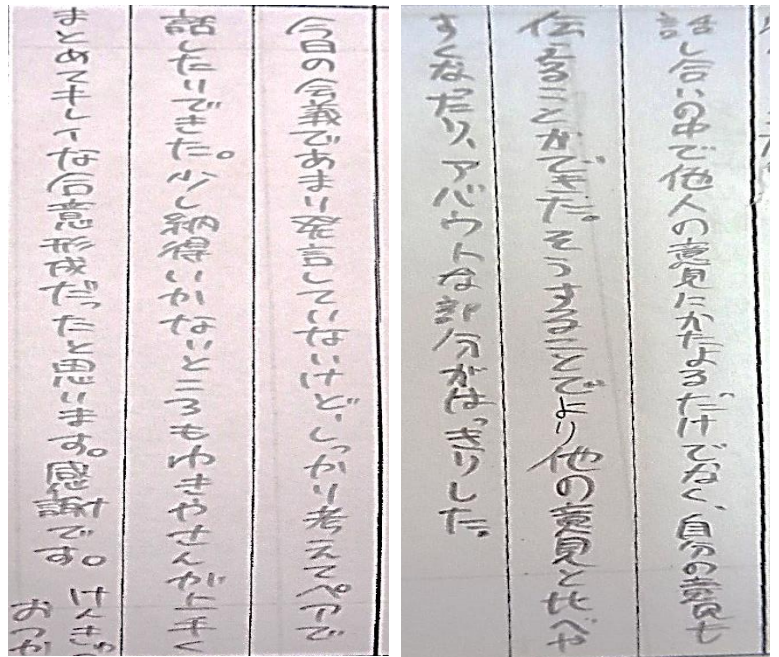


図1 新入生歓迎球技大会を企画すると熱弁

図2 4組Nさん(左)・7組Sさん(右)

実現性(低) vs **実現性(高)**

- 体験入学** (①): 実現性(低), 効果(大)
- ホスター作成** (②): 実現性(高), 効果(小)

目的 (新入生の不安や疑問を解消して安心して中学校生活を行ってもらうため)

議題 ③ 全体会議を開く

観点とその理由

- 受験前の三年生が一年生に説明する (セとカが増)
- 成績、スポーツの実践が良かった人のアドバイス
- いろいろな事(一回)で知ることでき、不向きなくせう
- 校則や行事をわかりやすくする。
- 在校生と交流をして仲を深める。